



2010～2011年度  
国際ロータリーのテーマ

## 地域を育み、大陸をつなぐ

事務局・例会場 鹿児島東急イン  
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F  
TEL 090-5295-2736  
FAX 099-251-5290  
例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

会 長 前田 正幸  
会長エレクト 小山田 吉治  
幹 事 佐藤 俊一  
編 集 会報・広報委員会

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www.ri2730.org/southern/>

Vol. 15-6

### 第626回例会 平成22年8月5日(木) プログラム「会員増強維持・分類委員会担当」

前回第625回例会[7月29日(木)]の報告 於:東急イン

#### 【会長アドレス】会長 前田正幸

今日は、7月26日は土用の丑の日でしたが鰻を食べられましたでしょうか。日本では夏の土用の丑の日に、暑い時期を乗り切る栄養をつけるために鰻を食べる習慣があります。鰻を食べる習慣についての由来には諸説あり、平賀源内が発案したという説が最もよく知れているということです。それによると、商売がうまく行かない鰻屋が、夏に売れない鰻を何とか売るため源内の所に相談に行ったそうです。源内は、丑の日に「う」の字が附く物を食べると夏負けしないという民間伝承からヒントを得て、「本日丑の日」と書いて店先に貼ることを勧めた。すると物知りとして有名な源内の言うことならということで、その鰻屋は大変繁盛し、他の鰻屋もそれを真似るようになり、土用の丑の日に鰻を食べる習慣が定着したそうです。有名人を使った宣伝方法は現在と変わらないと思った幸いです。

この民間伝承を根拠とするならば、土用の丑の日に鰻を食べるのが主流となったのは確固とした由緒由来が有るわけではなく、バレンタインデーのチョコレートや節分の恵方巻きなどと同様、現代でいうマーケティングに近いものといえそうです。ちなみに鰻にはビタミンA、ビタミンB類が豊富に含まれているため、夏バテ、食欲減退防止の効果が期待でき、そういった面からみると、当時夏の時期に鰻を食べる習慣は先人達の経験にもと基づいた生活の知恵といえそうです。又、土用の丑は古代の中国から伝わった五行説に由来するそうです。

暑い日が続きます。夏バテしないようスタミナをつけて頑張りましょう。

#### 【会務報告】幹事 佐藤俊一

- ① 来週例会(8/5)後、定例理事会を行います。
- ② 昨年度の秦直前ガバナー事務所は8/31をもって閉鎖されます。
- ③ 上期年会費を今月中に納入くださいますようお願い致します。
- ④ 鹿児島西南RC30周年記念誌を回覧します。
- ⑤ 8月ロータリーレートは1\$88円です。
- ⑥ 地区大会が10/8(金)～10(日)に行われます。

第1、2、3本会議登録料はクラブ負担で、全員登録します。出欠表をよく確認の上記入下さい。

#### 【ニコニコBOX】

- ◆前田正幸君 永田さん、本日の会員卓話宜しくお願ひします。
- ◆庄司教克君 父の葬儀にご会葬いただきまして、ありがとうございました。
- ◆藤崎克己君 本日よりロータリー復帰します。色々心配かけました。ただし、皆さん年に一回は大腸等の検診致しましょう。

#### 【ボール・ハリス・フェロー認証状の授与】

平ミサ様  
押井順子様



8月12日(木)はクラブ定款に基づき休会です。

《次回(第627回)例会のお知らせ》

日 時: H22年8月19日(木)12:30～13:30  
場 所: 東急イン2F  
プログラム: クラブフォーラム(ライラについて)

◆西孝一君 昨日掲載(南日本新聞)されたR会長の抱負の記事で改めてショックを受けました。ライオンズに比べてクラブ数とメンバー数に!! こういう時代こそ、みんなで元気を出して友を増やそう!!

《ニコニコBOX累計額 ¥51,000-》

#### 【ゴメンナサイBOX】

◆本多正明君 3週連続で出張が入り、なかなか出席できませんでした。ごめんなさい。

《ゴメンナサイBOX累計額 ¥7,000-》

## 鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2010～2011年度 クラブテーマ「心と心をつなぐ奉仕の輪」

## 【プログラム】会員卓話

永田優治君「ヨーロッパ旅行中の出来事」

何もなかったら、個人旅行の話はしないのですが。まず、24年前、知り合った。29歳の独身スイス人アーネスト。当時、居酒屋で、私の勧めた焼酎の飲みすぎで別府行きに、寝過ごしたとの事。そこで夕食をご馳走し、しばらくは手紙のやり取りをしていた友、家内が24年前の住所にRCCのレイナさんの指導を得て手紙を出したところ、なんと1週間後、メールが来ました。さて、どんな出会いになるか。

旅行翌日、ドイツに入った4/15、妻がアイルランドで火山が爆発し、テレビで大騒ぎと聞くと、桜島みたいなことと、聞き流した。後でたいへんな事になるとは。フランクフルト到着後、ライン川に沿ってワインを体験したりクルーズを楽しんだり、途中ローレライの現場を見たりしてあと、いろいろな城郭都市観光。夜はグラスになみなみとワイン、味は抜群。4/16も同様城郭都市内観光。小便器の写真が良く出てきますが向こうの物はとても高い、やっとなりました。世界遺産ヴィース教会を見てスイスに近いフェッセンへ。4/17ドイツ観光のハイライト白亜の美城ノイシュバンシュタイン城、豪華絢爛。途中、アーネストに電話。夕刻到着と報告。アルペンリゾートのインターラーケン到着。ホテルに待っていたのはアーネスト、それに彼女のアフリカ出身のアイバさん、二人にビックリ。食事は我々のコースに合流決定。夕食はフォークロアディナーショー(民族舞踊)を見ながらオイル・フォンデュ、鍋料理。これで、後の観光がさえない事になるとは。家内は串3本ほどで、食べられないと言う。後がたいへんだった。ツアー客の6割が下痢症状になった。4/18翌朝3時頃妻が腹痛を訴え、戻しました。私は、沢山食べましたが、徐々に腹がおかしくなりました。これから4日間食欲も無く、この日、ユングフラウヨッホ登山列車観光を堪能するどころではありません。氷河特急の事故は我々の行ったスイス側の丁度反対側、マッターホルンを見るイタリア側。ユングフラウ駅の高さは3454mで富士山並。山は4158m、駅から直ぐそこにアイガー北壁が見え、すごい景色に感動。昼飯は全然食えず。夕方ジュネーブからTGVにてパリへ。社内弁当、久しぶりの幕の内弁当さえ殆どダメ。4/19、東京で言えば新宿、ラ・デファンス、新凱旋門ここに2日泊まって終わりとなるはずでした。午前バス市内観光、気分さえず。エッフェル、凱旋門、シャンゼリゼなど見て昼食。エスカルゴを1個食べたらさらに回復を遅らせてしまいました。40名中6割が手を付けず、もったいない事。午後はルーブル博物館へ。館内広く、ついて行くのがやっとなりました。午後、ホテルへ帰るバスの中、今夜話があるから集まれと。飛行機が飛ばないから、5日間はこちらにいななければならないとの話。ホテルはこのまま。しかし明日から1部屋107ユーロが150ユーロに値上と。皆、帰る前日で現金は少ないのに、明日の分は今現金で頼むと。明日帰る予定を、25日パリ発に仕方なく承服。1週間の滞在に喜んだ人も半分。ホテル代10万円、1人でも2人でも1部屋2万、パリは違う。まだ、胃の調子は戻らず、りんご、バナナ、ト

マト等を仕入れ、回復を待つ。家内からももらった胃薬の赤玉、梅干、酢コンブが嬉しい。

アイスランドの爆発ニュース、1万m程の高さ。後日確認したら爆発は出発の14日だった。添乗員が最後まで隠し続けたことはさすが。宮崎西RC・事務局にいたそう。パリに入り気になっていたのが携帯電話の圏外表示。国際電話用に買ったばかりなのに。この頃、川原さんから着信が入っていた。平さんの件で。後日かける事に。ここはカード社会、暗証番号なしでは通用しない。日本では30年サインのみできた。現金は少なめにと言うはずだ。スーパーでは何円からでもカード支払いが普通。爆発はパリのホテルにとっては特需、航空会社は死活問題。5日間は神様のプレゼントか？それはカード次第。暇な時の旅行だったが、鹿児島へ総会欠席電話。半分嬉しくもあり、困ったとも思う。買物は自分で計量、個々のバーコードをつけてレジへ。ここでも暗証番号を試すがノー。夜、情報収集、テレビはアメリカのCNN、英語は3箇所放映、NHKは音声なし、録画ばかりでつまらない。まだ胃の調子が悪いので自分で吐き出す。4/21まずは鹿児島への連絡をどうするか。部屋から国際電話に直通できるよう依頼。電話代支払いをこのときサインでしておいたのが良かった。あとのホテル代は、一度したサインでOKだったからだ。一般電話で日本へ。10分で43ユーロ、5,676円請求、やはり高い。最新携帯は当事務所の職員に一度電源を切ってみたら、と助言され、実行したらアラ不思議、直ぐ、圏外表示は解消した。ドイツから見て圏外だった。自動電源ON,OFFにしておけば良かった。4/22少し元気が出てきた。固いフランスパンにりんごのすりおろし、バター味ダメ。軍資金を両替していざパリ散策へ。切符購入、これが最初の関門。まず、数ヶ国語から英語を選択、慣れないと難しい。どこへ行こうか1.6ユーロ。オペラ座を見て、昼は日本食店へ。たまご丼、ラーメン注文。経営者は中国人、客は外人ばかり、なつかしの麒麟ビールのポスター有。4/23ヴェルサイユ行きへ挑戦。パリから20~30kmあり、オプション観光では結構とられるが10分の1で。安いコースと思ったら3つのうち、一番遠いヴェルサイユ駅に着いた。そこから15分訪ね歩き到着。とにかくきらびやかで豪華で広い。入場券を買うのが一仕事。日本語の機材を借りて解説OK。帰りの運賃はおなじ路線なのに半額、どうも不思議だった。4/24エッフェル塔観光。セーヌ川他の見晴らし堪能。この夜、旅行会社が気を使って(食中毒と爆発の影響?)、刺身付日本食をおごってくれた。4/25パリ離陸の朝、みんなの顔、晴れ晴れ。やっと帰れるぞと。ドゴール空港より飛行機12時間、上海経由、福岡へ、それから高速バスで鹿児島へ。直行便のはずでしたが。

友との再会、爆発、腹痛、滞在、挑戦、カード。良い勉強をしました。外国語の勉強、必要ですね。

